



厚小だより

NO・8

令和7年11月28日(金)

発行者

厚岸町立厚岸小学校

校長

あっ小3つの「あ」：あいさつ あきらめない心 あたりまえ

夏歌う者は冬泣く

「夏歌う者は冬泣く」ということわざがあります。ここでいう「歌う」はあまりよい意味に使われてはいません。身体を動かしやすい夏に歌って遊んで暮らしているという意味に使っています。その結果、凍える冬に寒さと飢えに苦しみ「泣く」。つまりは「働けるときに働かない者は、後になって生活に困窮する」というたとえに使われています。これは、やるべきことをやるべき時にやらないと、後々苦しい思いをすることになるという意味でもあります。学校でいうと、長い休みの前に出される宿題、後回しにしていると大変なことになる……ということですね。

さてこのことわざから、イソップ寓話集の「アリとキリギリス」を思い浮かべる人も多いと思うのですが、実は原作の「イソップ寓話集」では登場する動物の種類と結末が、日本で主に語られているものと違うところがあります。まず、原作ではキリギリスではなくセミです。タイトルも「セミとアリ」となっていて、困りものはセミが演じています。ヨーロッパ北部に話が伝わったときに、その地域ではセミがなじみのない昆虫だったため、「キリギリス」に変わったそうです。

それはともかくとして、夏に歌って（鳴いて）ばかりでアリのように真面目に働き、蓄えをしてこなかったセミですが、冬になり周囲に食べるものが無くなり、困り果ててしまい、アリが食料を集めていたのを思い出します。そこで食料を分けてもらおうとアリのもとを訪ね頼みます。するとアリは「それはお困りでしょう。どうぞ食べてください。その代わりに、あなたの歌を聞かせてください。」と言ってくれました、というのが日本の絵本などにある結末。そうではなく、アリが「おやおや、夏に歌って楽しんでいたので、冬も歌えばいいんじゃない。」と言い放ち扉を閉めてしまう、というのが原作などでの結末。

子ども向けの童話としてはセミ（キリギリス）が凍え死んでしまう原作の結末はよくないということで、日本に伝えられたときにキリギリスが改心するストーリーに変わったとも言われています。また、そこには国民性もあるとも言われています。ヨーロッパでは自律や自制、勤勉、日本では協調性や思いやり、親切心が大切な教え（考え）となってこの寓話の結末に現れているように感じます。今は不寛容な社会とされています。ネットでの誹謗中傷やいじめ、人や物に対するバッシングなど社会問題にもなっています。私たちは改めて大切な教えについて伝えていく必要があると考えています。

11月になってから最低気温がマイナスになる日が多くなり、一気に冬が近づいてきたように感じます。本格的な冬を迎えるにあたって心配なのがインフルエンザ、コロナウイルス感染症の流行です。帰宅時のうがいや手洗いはもちろんのこと、毎日の生活習慣を規則正しいものにし、しっかりと食べて、病気にかかりにくいからだづくりを心掛けてほしいと思っています。また、今後、気象状況や感染症の流行等による臨時休業や学年閉鎖を行うことがあるかもしれません。子ども達の安全確保のためにメール等でご協力をお願いする場面もあろうかと思えます。その際にご理解の程、よろしくお願い致します。そして、子ども達には風雪や凍結路面、落雪など、冬型の事故に注意するよう、学校でも指導を行っていきますが、ご家庭でも声掛けをしていただければと思います。



～ 読書月間（11月）の取組紹介 ～

11月は本校において「読書月間」でした。「うみえもん この本読んで！」を合言葉にした読書紹介カードの作成、ちょっとニュアンスが変わった「頭と心の内服薬 本の処方箋」（こちらもお勧め本の紹介）、シリーズクイズ（タイトルや作者）づくり、読んだ冊数とともに進んでいく「ブックビンゴ」や「ブックパズル」、「ポケモンしおり」ゲット！等々、本校ではアイディアを駆使して子どもたちと本との距離が近づくように日々工夫しています。



救命救急・AED講習

釧路東部（厚岸）消防署の方々に講師を務めていただき、5・6年生を対象に実施しました。

「胸骨圧迫法」ならびに「AED」による心肺蘇生の流れを説明していただき、人体模型に対し実践を試みました。

「難しかった…」「体力も使う…」本音が出ていましたが、中学生くらいからは実際に救助者になり得ることから、小学校高学年のうちに体験させておきたいというのがねらいです。



防災授業HUG

役場危機化対策室の方を講師に「避難所運営ゲーム」略称「HUG」（ハグ）を通して、自分たちの地域が災害に遭遇し、住民が公共施設に避難した場合、自分たちには何ができるだろうか…という意識の醸成を図る出前授業を実施しました。いざという時に、住民自らが避難所の切り盛りを始めるという想定で、小学3年生にはレベルが高そうに思えましたが、子どもたちは真剣に考えて話し合い、3年生なりに運営方法を見出していました。



PTA主催レクまみれ御礼

厚小祭りに代わって今年度から企画された全体レクでしたが、年齢縦割りの4チームに分かれて（種目によって親・先生も加入）、4つのゲームを楽しみました。大成功でしたね！子どものために準備・運営、ありがとうございました！！



【交通事故にくれぐれも注意しましょう！】

朝、太陽が低く、視界がまぶしい時があります。歩行者も運転者も信号機を見落とす可能性があります。夕方の日暮れも早く、人が見えにくい。どの立場であっても、互いに周り（前方、左右）を注意深く見るようにし、事故を防ぎましょう。



じっくり学習に取り組もう
〔2月14日まで帰宅時間は16時00分です〕

日にち	主な行事
1日（月）	あたりまえチェック ぴよんぴよんウィーク
2日（火）	朝会 町内一斉学力テスト
3日（水）	午前授業 公開研究授業（※3年：午後授業あり）
4日（木）	
5日（金）	避難訓練（火災） 読み聞かせ スタディタイム 児童委員会
6日（土）	
7日（日）	
8日（月）	校内作品展（～19日） 図書返却週間 ノート展覧会
9日（火）	参観日（高）
10日（水）	参観日（低） 朝読書
11日（木）	参観日（中）
12日（金）	クラブ（3年生見学） 読み聞かせ スタディタイム
13日（土）	
14日（日）	
15日（月）	自主学习強化週間 冬休み図書貸出週間
16日（火）	アックシソウ交流（4年）
17日（水）	朝読書
18日（木）	
19日（金）	読み聞かせ スタディタイム 子ども☆未来ミーティング
20日（土）	
21日（日）	
22日（月）	小6 中学校登校日②
23日（火）	
24日（水）	2学期終業式 学期末清掃
25日（木）	冬季休業（1月15日まで）
26日（金）	
27日（土）	
28日（日）	
29日（月）	学校閉庁日
30日（火）	学校閉庁日
31日（水）	学校閉庁日

令和7年度 厚岸町「社会を明るくする運動」標語

【いじめ・非行防止部門】

さん 『やささで いじめ撲滅 明るい未来』
さん 『やめようよ 君のひとこと だいっほ』

【交通安全部門】

さん 『まわり見て 慣れた道こそ 要注意』
さん 『ヘルメット かぶれば守れる 命あり』
さん 『黄信号 ま、いっかはダメ 立ち止まれ』

